

© 2016, Keiichi Kubo, Kota Suechika, and Yuriko Takahashi.

『比較政治学の考え方』

久保慶一・末近浩太・高橋百合子／著

演習問題

発行所 有斐閣

2016年3月10日 初刷発行

ISBN 978-4-641-15031-7

© 2016, Keiichi Kubo, Kota Suechika, and Yuriko Takahashi.

Printed in Japan.

演習問題

第1章 比較政治学の方法と着眼点

1. 比較政治学，国際関係論，地域研究の違いは何だろうか。移民・難民問題，テロリズムなど，具体的なイシューを取り上げて考えてみよう。

第2章 国 家

1. 世界にある未承認国家を取り上げ，それらの国々をどの国が国家として承認しているか，調べてみよう。
2. 世界にある未承認国家を取り上げ，それらの国々がなぜ独立を求めているのか，調べてみよう。

第3章 民主化

1. DD 指標，ポリティ指標，FH 指標のいずれかを用いて，非民主主義的な政治体制をとる国を1カ国，選んでみよう。その国では，本章で紹介した独立変数がどのような値をとっているか，調べてみよう。その調査の結果と，本章で取り上げた理論をふまえて，その国が近い将来民主化する可能性が高いか，それとも低いかな，考えてみよう。
2. 東欧では，1956年のハンガリー動乱，1968年のプラハの春，1980年のポーランドの連帯運動は，社会主義体制の崩壊・民主化にはつながらなかったが，1989年のポーランドやハンガリーにおける連帯合法化要求などの一連の動きは，社会主義体制の崩壊と民主化につながった。東欧諸国において，1989年に民主化が起こり，その前には起こらなかったのはなぜなのだろうか。本章で取り上げた諸理論のうち，東欧諸国の民主化の事例をもっともよく説明できるのはどの理論だろうか，考えてみよう。

第4章 民主主義体制の持続

1. 表 4.1 (60 ページ) にあがっている国から 1 つを選び、民主主義体制が崩壊する過程を調べてみよう。そして、その規定要因は何だったのか、考えてみよう。

第5章 権威主義体制の持続

1. 今日の北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）は、本章で学習した権威主義体制の下位類型の中でどれに最も近いのか、考えてみよう。

第6章 内 戦

1. 2011 年に始まったシリア内戦は、なぜ起こり、なぜ長期化したのか、考えてみよう。

第7章 執 政 制 度

1. 議院内閣制と大統領制のそれぞれのメリットとデメリットを考えてみよう。

第8章 政 党 制 度

1. 日本の政党システムは、1994 年の選挙制度改革以降どのような変化を遂げたのか、調べてみよう。そして、その変化の規定要因を考えてみよう。

第9章 軍

1. エジプトやタイでは軍によるクーデタを多くの国民が支持した。どのような条件があれば国民は軍のクーデタを支持するのだろうか、考えてみよう。

第10章 社会運動

1. 2011年からの日本の原発再稼働反対運動が、政策変更へとつながらないのはなぜだろうか、考えてみよう。

第11章 民族集団

1. マレーシアは多民族国家であるが、どのような民族集団が存在するのか、調べてみよう。そして、民族集団と政党との関係について調べてみよう。

第12章 民主主義の質

1. 経済発展の水準が高まると汚職統制が強まり、その結果、汚職が減少するという議論があるが、日本では今日でも汚職事件が頻発している。日本で起きた汚職事件を調べてみよう。そして、日本においてなぜ汚職統制が強まらなかったのか、考えてみよう。

第13章 新自由主義改革

1. 新自由主義改革については、賛否両論がある。推進派と反対派のそれぞれの主張を調べてみよう。